

令和2年度 フロンティア科「出前講座」

- 1 日 時 令和2年6月26日（金） 13:50～15:50（120分）
- 2 講 師 JA宮崎中央会
- 3 演 題 宮崎の農業について
- 4 感想

1年H組 片平 日和

今回、農業に関する話を聞きました。私は今までJAについて詳しく知らなかったが、動画を見たり、曾我部さんの話を聞いたりしてJAは私たちの生活と密接に関わっていて地域を支えているということが分かりました。宮崎県の産業といえば、やはり農業です。全国1位のきゅうり、全国2位のピーマンのほかにも宮崎牛、宮崎ブランドポーク、みやざき地頭鶏、日向夏、マンゴー、きんかんなど数多くの特産品が宮崎県の温暖な気候を生かして生産されていることを知って、とても驚きました。そんな盛んな農業を支えてくださっているのが農家の方ですが、農業就業人口は年々減っていて、その7割以上が60歳以上というのは非常に深刻な問題だと感じました。その一方で、「スマート農業」という新しい形が広まっており、ドローンやGPS、ロボットを用いた農業が増えつつあることも知りました。私はそのような農業が広まればもっと効率的に生産できるようになり、農家の方の負担も軽減できるのでとてもいい仕組みだと思いました。私自身ももっと宮崎の農業や食に興味を持ち、宮崎県を支える一人となれるように頑張りたいです。

1年I組 奥野 愛叶

今日の講座で、私は毎日の生活が自分の未来に大きく影響していることを知った。今までの生活で私は、明日に備えるので精いっぱいであった。しかし、もっと先の未来のことまで考えなければならぬと強く感じた。しかし、どう変われば未来のことを考えながら生きているのだろうか。とてもじゃないけど、答えはすぐに出ないと思う。だから、私たちの周りの大人たちは未来を考えさせるような活動を与えてくれるのだと思った。これからの総合科学でこのような機会が何度もあると思う。自分の理想の姿になれるように大切にしていきたい。また、今回の話で「農家」という職に強い興味を持った。今まで農業なんてしたくないと思っていたが、自分がやりたいと思っていた起業と農業は同じだと知り、すごく魅力を感じた。また、農家の仕事は農作業や経営まで様々なことがあり、一生学び続けることができる職だと感じた。これから農業についてもいろいろと考えていきたい。

